

令和 7 年度

「教育に関する事務の管理及び執行  
の状況の点検及び評価」 報告書

(令和 6 年度対象)

朝倉市教育委員会

## 1 はじめに

朝倉市教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、令和6年度の朝倉市教育委員会の活動や教育施策について行いました。

点検及び評価に当たりましては、令和6年度の朝倉市教育施策要綱により行い、この報告書を議会に提出するとともに、公表することにより市民の教育行政に対するご理解とご支援をお願いするものです。

## 2 教育委員会の概要

### （1）教育委員会制度の仕組み

ア 教育委員会は、首長から独立した行政委員会と位置づけられ、地域の学校教育、社会教育・生涯学習、文化、スポーツ等に関する事務を執行する教育委員による合議制の執行機関として、すべての都道府県及び市町村に設置され、教育行政における重要事項や基本方針を決定しています。

イ 教育委員会を組織する教育委員は、首長が議会の同意を得て任命し、任期は4年で再任ができることとされています。

ウ 教育長は、首長が議会の同意を得て任命し、特別職となり、任期は3年とされています。教育長は委員会の会議を総理し、委員会を代表します。

エ 職務代理者は、教育委員のうちから教育長が指名し、教育長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を行います。

(2) 朝倉市教育委員会

委員の区分	氏名	任期	保護者	出身地域
教育長	早野展生	R6.6.12～ R9.6.11		—
委員（職務代理者）	上原実二	R6.7.3～ R10.7.2		朝倉
委員	鹿毛美和	R3.6.26～ R7.6.25	○	甘木
委員	坂口秀孝	R4.6.30～ R8.6.29		甘木
委員	高倉満	R4.6.30～ R8.6.29		杷木

○：保護者該当（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第5項）

3 点検・評価の対象並びに基準

(1) 点検・評価の対象

教育委員会の事業内容について、事業部門別（Ⅰ～Ⅱ）の基本目標に係る主要課題の区分により、令和6年度の到達目標を主題として自己点検・評価表を作成しました。

Ⅰ 学校教育

〈1〉確かな学力

- (1) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善
- (2) 学習習慣の育成
- (3) キャリア教育の推進

◎到達目標…学力テスト等における県平均等以下の児童・生徒を前年度比7割以下

〈2〉豊かな心

- (1) 自己肯定感が高まる体験活動の推進
- (2) 自他のよさを認め合う子どもの育成
- (3) いじめ、不登校の未然防止・早期対応

◎到達目標…自分に良いところがあると思う児童・生徒の割合8割以上／新規の不登校児童・生徒の出現数を前年比8割以下

### 〈3〉健やかな体

- (1) 主体的に運動に取り組む子どもの育成
- (2) 基本的な生活習慣の徹底
- (3) 健康教育の推進

◎到達目標…情報通信機器（携帯電話等）やテレビ、ゲームなどに関する使用時間の約束が守れている児童・生徒の割合 7 割以上

### 〈4〉開かれた学校

- (1) 地域とともにある学校づくりの推進
- (2) 郷土に愛着と誇りを持った子どもの育成

◎到達目標…市内のイベントや地域行事などに参加した児童・生徒の割合 6 割以上

### 〈5〉教育環境の充実

- (1) 安心・安全な教育施設等の整備
- (2) 働き方改革の推進

◎到達目標…通学路・学校施設の安全管理に起因する児童・生徒に係わる事故等の件数 0 件／時間外在校等時間月 80 時間超の教職員が 1 割以下

### 〈6〉教育支援

- (1) 教職員の資質向上に向けた支援の充実
- (2) 不登校復帰や改善に向けた支援の充実

◎到達目標…学校による教育支援センター研修満足度 3.5 以上（4 段階）／適応指導教室入級児童・生徒の改善率（ステップ出席日数増あるいは学校への登校日数増） 5 割以上

## II 生涯学習・スポーツ・文化

### 〈1〉生涯学習の推進

- (1) 生涯学習機会の充実
- (2) 生涯学習支援の充実

◎到達目標…生涯学習を習慣化している（趣味も含む）市民の割合 38%

### 〈2〉スポーツの推進

- (1) スポーツ施設の活動環境の充実
- (2) 健康増進、市民相互交流の促進



(3) 活動組織・団体の育成

◎到達目標…スポーツを習慣化している市民の割合 33%

〈3〉読書活動の推進

- (1) 各種機関と連携した読書推進事業の充実
- (2) 市民のニーズに応じた図書館資料の整備
- (3) 巡回文庫や移動図書館を活用した読書環境の整備

◎到達目標…市民1人あたりの貸出冊数(電子図書館分を含む) 7冊

〈4〉文化芸術活動の推進

- (1) 文化芸術の振興と活動支援
- (2) 文化施設の整備と利用促進

◎到達目標…芸術・文化活動について鑑賞又は活動をしている市民の割合 42%

〈5〉文化財の保存と活用

- (1) 文化財の確実な継承
- (2) 文化財の整備と活用

◎到達目標…文化財啓発イベント数 40回

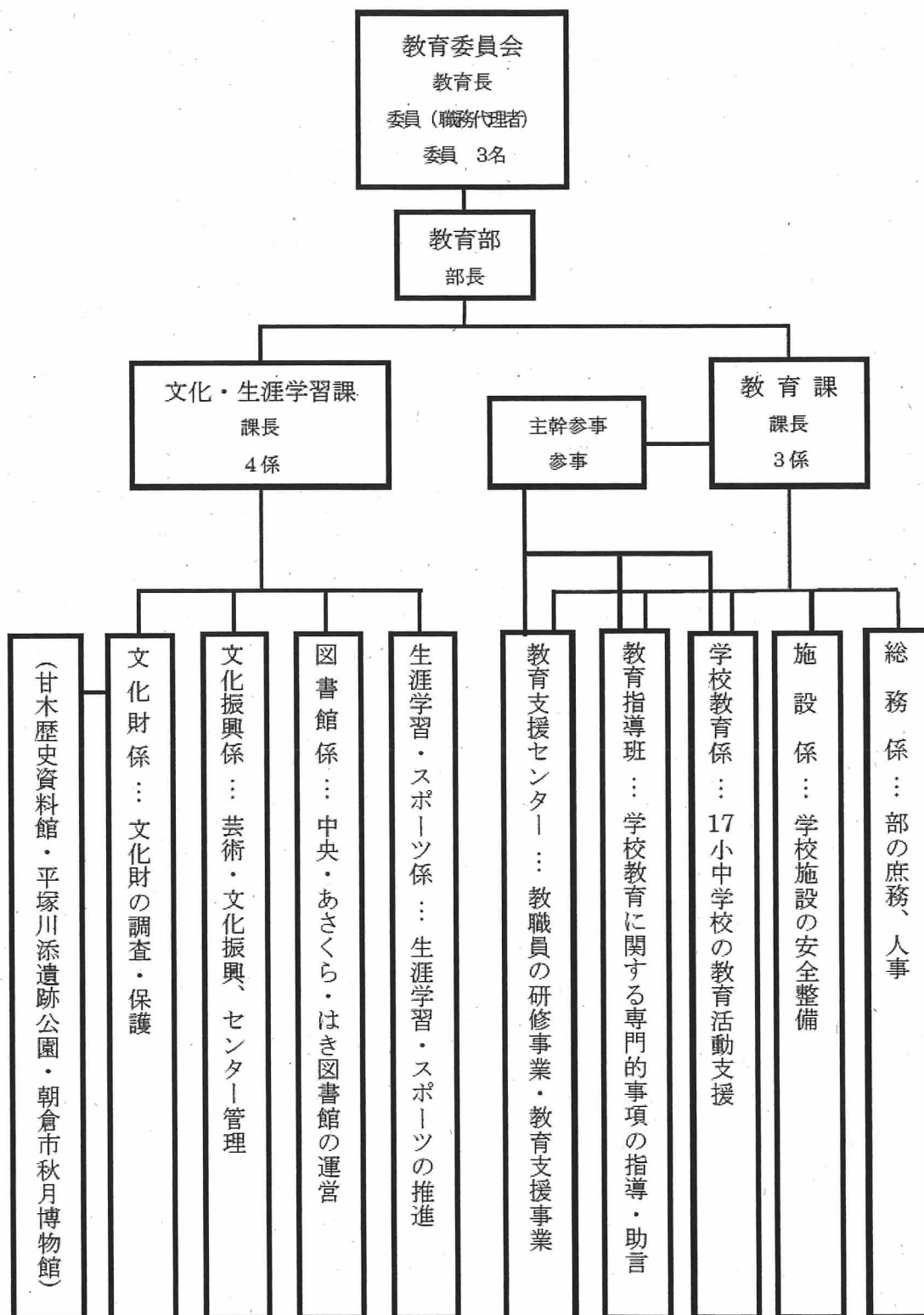
(2) 点検・評価の基準

点検・評価の項目ごとに達成状況を5段階で評価し、表示しました。

- 5 . . . . 達成率100%以上
- 4 . . . . 達成率85%以上～100%未満
- 3 . . . . 達成率70%以上～85%未満
- 2 . . . . 達成率50%以上～70%未満
- 1 . . . . 達成率50%未満

(3) 朝倉市教育委員会事務局

<組織図>



<職員数>

所 属		令和6年度	令和5年度	
教育部長		1	1	
教育課	課長・主幹参事・参事	3	3	
	総務係	㊦2 ㊦1	㊦2 ㊦1	
	施設係	㊦5 ㊦0	㊦5 ㊦0	
	学校教育係	㊦9 ㊦4	㊦9 ㊦3	
	教育指導班	㊦0 ㊦1	㊦0 ㊦1	
	教育支援センター	㊦0 ㊦5	㊦0 ㊦5	
	学校	調理員	—	㊦1 ㊦1
		登校支援員	㊦0 ㊦3	㊦0 ㊦3
		複式学級対応常勤講師	㊦0 ㊦1	㊦0 ㊦1
		用務員・学校司書・事務補助	㊦0 ㊦35	㊦0 ㊦35
		スクールバス運転手	㊦0 ㊦3	㊦0 ㊦3
	計		㊦19 ㊦53	㊦20 ㊦53
文化・生涯学習課	課長・課長補佐	2	2	
	生涯学習・スポーツ係	㊦6 ㊦6	㊦6 ㊦6	
	図書館係	㊦4 ㊦16	㊦4 ㊦16	
	文化振興係	㊦4 ㊦2	㊦4 ㊦3	
	文化財係	㊦7 ㊦5	㊦7 ㊦4	
	甘木歴史資料館・平塚川添遺跡公園・朝倉市秋月博物館	㊦2 ㊦11	㊦3 ㊦11	
	計	㊦25 ㊦40	㊦26 ㊦40	
合 計		㊦45 ㊦93	㊦47 ㊦93	

※ ㊦は正規職員（再任用含む）数、㊦は正規以外職員数（単位：人）

## 4 令和6年度の事務の管理及び執行の総括

### I 学校教育

将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育成することは急務です。

そこで本市では、学校目標を「ふるさと朝倉を愛し、社会に貢献できる子どもの育成」とし、様々な教育施策を進めてきました。

その結果、令和6年の成果として、新規の不登校児童生徒数を減少させることができました。これは、各学校の学校行事等において地域の特色を生かした様々な体験学習が行われ、児童生徒が主体的に「参加」「協力」「体験」できる学習活動が推進されたこと、また、適応指導教室（ステップ）や民間のフリースクールと連携し、不登校児童生徒の居場所づくりと学習支援を行うことができたことが大きな要因であると考えます。

令和7年度も、国や県の教育改革の潮流を積極的に受け止めながら、地域に根差した教育をさらに発展させていきたいと考えます。特に令和6年度に課題として残った「確かな学力」については、小学校での交換授業や中学校でのTT授業など、複数の教職員で児童生徒を支援できる教育体制づくりを推進します。また、AIドリルの活用や『英語力向上』プロジェクト（市内中学生の英語検定3級の受験希望者への受験料全額補助）などの事業により改善を図っていきます。

また、市内の小規模校（秋月小学校、蜷城小学校、秋月中学校）の魅力を高め、児童生徒数の減少を抑制し学校の適切な運営を図ることを目的として、大規模校（立石小学校、甘木中学校）から小規模校へ一方のみ通学可能な学校選択制を導入しました。令和7年度から令和9年度までのモデル事業「小規模校振興プロジェクト」として実施します。令和6年度に募集を行い、令和7年4月から児童1名が小規模校へ通学することを決定しました。

### II 生涯学習・スポーツ・文化

生涯学習・スポーツ・文化の部門では、「誰もがいつでも参加し学ぶことができ、豊かで成熟した郷土愛あふれる地域づくり」を目標とし、5つの主要課題に取り組みました。主要課題のために実施した事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、令和6年度については、多くの指標で回復傾向となっています。しかしながら、生涯学習の推進における自主学習団体登録数やスポーツの推進におけるスポーツ施設利用者数など、コロナ禍前の水準に達していない項目もみられることから、さらに積極的な事業展開が求められます。このことについて、令和6年度では、eスポーツやスポーツ少年団研修会等の新規事業を行い、新たな方向性を見出すことができました。

令和7年度に向けては、朝倉市制施行20周年事業として、eスポーツの拡充やナ

マオケバトルin朝倉といった事業を展開し、地域間交流を深めるとともに、市民相互の交流が促進するよう努めます。さらに、地域の魅力再発見と愛着心向上を目的とした、全国藩校サミット朝倉大会を実施します。今後も、様々な場面での情報発信に努め、市民の参加意欲を促すイベントを実施し、地域に愛着を持つ取り組みを進める必要があります。

<基本目標の評価点>

部 門	基本目標	評価点の平均	
学校教育	確かな学力	3	4.3
	豊かな心	5	
	健やかな体	5	
	開かれた学校	5	
	教育環境の充実	4.5	
	教育支援	3.5	
生涯学習・スポーツ・文化	生涯学習の推進	3	4.4
	スポーツの推進	5	
	読書活動の推進	4	
	文化芸術活動の推進	5	
	文化財の保存と活用	5	
全 体 平 均		4	

5 教育に関し学識経験を有する者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、1名の方から意見を徴しました。

氏 名	所 属 等
矢 野 俊 一	元 福岡教育大学教職大学院 特任教授

## 6 朝倉市教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会開催状況

開催回数	開催日	定例臨時	付議事件番号	付議事件
令和6年第6回	4月25日	定例	第11号	朝倉市図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
			第12号	朝倉市教育支援センター運営委員会委員の委嘱の臨時代理について
第7回	5月27日	定例	第13号	財産の取得に係る意見の申出について
			第14号	朝倉市私立幼稚園副食材費等補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
			第15号	朝倉市子どもの居場所支援事業補助金交付要綱を廃止する要綱の制定について
			第16号	朝倉市社会教育委員の委嘱について
			第17号	甘木歴史資料館協議会委員の委嘱について
第8回	6月24日	定例	第18号	令和6年度教育費補正予算に関する意見の申出の臨時代理について
			第19号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更に関する意見の申出の臨時代理について

開催回数	開催日	定例 臨時	付議事件 番号	付議事件
第9回	7月26日	定例	—	—
第10回	8月6日	臨時	第20号	令和7年度使用中学校教科用 図書の採択について
第11回	8月19日	定例	第21号	令和6年度教育に関する事務 の管理及び執行の状況の点検 及び評価について
第12回	9月24日	定例	第22号	令和5年度教育費歳入歳出決 算に関する意見の申出の臨時 代理について
			第23号	令和6年度教育費補正予算に 関する意見の申出の臨時代理 について
			第24号	朝倉市立小中学校小規模校区 選択校制度に関する規則の制 定について
第13回	10月25日	定例	—	—
第14回	11月21日	定例	第25号	朝倉市朝倉地域体育施設指定 管理者の指定に係る意見の申 出について
第15回	12月23日	定例	第26号	令和6年度教育費補正予算に 関する意見の申出の臨時代理 について

開催回数	開催日	定例 臨時	付議事件 番号	付議事件
令和7年 第1回	1月27日	定例	第1号	財産の取得に関する意見の申出の臨時代理について
第2回	2月17日	定例	第2号	朝倉市総合市民センター及び地域生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定に係る意見の申出について
			第3号	朝倉市総合市民センター及び地域生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
第3回	3月6日	臨時	第4号	朝倉市立小・中学校長の任免内申について
第4回	3月25日	定例	第5号	令和6年度教育費補正予算に関する意見の申出の臨時代理について
			第6号	令和7年度教育費予算に関する意見の申出の臨時代理について
			第7号	令和7年度朝倉市教育施策要綱の制定について
			第8号	朝倉市適応指導教室の管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
			第9号	朝倉市教育支援センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
			第10号	朝倉市学校給食費補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
			第11号	朝倉市フリースクール支援活動助成補助金交付要綱の制定について



開催回数	開催日	定例 臨時	付議事件 番号	付議事件
			第12号	朝倉市英語検定料補助金交付 要綱の制定について
			第13号	朝倉市教育委員会管理職任免 の臨時代理について

(2) 教育委員会の取組及び活動

① 教育委員の学習会について				
回数	年	開催月日	点検・評価	改善等
3	令和6年	8/19 12/23	○学習会は、教育委員としての資質向上を目指し、自己研鑽に努めるとともに、教育行政全般に関わる諸問題について、事務局担当者を交えながら、全員の意思統一と問題認識の共有のために開催しました。	○今後も学期毎に1回及び必要に応じて計画的に開催します。また、更なる知識の深化や学習の充実を目指します。
	令和7年	2/17		

② 小・中学校への学校訪問について

月 日	学 校 名	訪 問 形 態	点 検 ・ 評 価
5/29	蜷 城 小 学 校	市教委単独	<p>○小・中学校への訪問については、教育委員及び教育委員会事務局職員による市単独訪問と、福岡県教育庁北筑後教育事務所による訪問の2つの形態で行い、適切に指導及び助言を行いました。</p> <p>○校長・教頭・主幹教諭等から、経営課題及び教育課題を解決するための学校経営方針、校務運営方針、教務運営方針などの説明を受けるとともに、児童・生徒や教職員に係る関係帳簿及び会計帳簿等の点検を行い、学校経営や帳簿等の事務処理に関する指導・助言を行いました。</p> <p>○各学校の施設全体の状態をチェックしました。</p> <p>○各教室の授業参観を行うとともに、教室内の掲示物の貼付状況・内容の確認を行い、指導・助言を行いました。</p> <p>○各学校の経営について意見・感想を述べました。また、日頃感じている教育関係の課題等について協議を行いました。</p>
5/30	杷 木 小 学 校	教育事務所	
5/31	三奈木小学校	教育事務所	
6/27	十文字中学校	教育事務所	
7/1	秋 月 中 学 校	市教委単独	
7/2	福 田 小 学 校	教育事務所	
7/5	金 川 小 学 校	教育事務所	
7/9	大 福 小 学 校	教育事務所	
7/9	馬 田 小 学 校	市教委単独	
7/10	朝倉東小学校	教育事務所	
7/10	甘 木 小 学 校	市教委単独	
7/11	甘 木 中 学 校	市教委単独	
7/11	南 陵 中 学 校	市教委単独	
9/26	秋 月 小 学 校	市教委単独	
9/30	杷 木 中 学 校	市教委単独	
10/3	比良松中学校	市教委単独	
10/23	立 石 小 学 校	市教委単独	

③ 教育委員の活動実績について		
月	日	研 修 会 及 び 事 業 等
R6 4	1	新規採用教職員宣誓式、新規採用教職員・転入者引渡式
	25	定例教育委員会
5	10	朝倉市小学校教育研究会全体研修会（朝倉東小学校）
	21	朝倉市中学校教育研究会全体研修会（朝倉地域生涯学習センター）
	27	定例教育委員会
	29	学校訪問（蜷城小）
	30	学校訪問（杷木小）
	31	学校訪問（三奈木小）
6	4	朝倉市甘木総合隣保館運営委員会
	7	朝倉市人権同和教育推進協議会総会
	7	朝倉市杷木人権啓発センター運営委員会
	24	朝倉市緑化推進協議会総会
		定例教育委員会
	27	学校訪問（十文字中）
7	1	学校訪問（秋月中）
	2	学校訪問（福田小）
	3	朝倉市いじめ問題対策連絡協議会
	5	学校訪問（金川小）

月	日	研 修 会 及 び 事 業 等
7	9	学校訪問（大福小、馬田小）
	10	学校訪問（朝倉東小、甘木小）
	11	学校訪問（甘木中、南陵中）
	26	定例教育委員会
8	6	臨時教育委員会
	19	学習会、定例教育委員会
	23	朝倉市総合教育会議
9	24	定例教育委員会
	26	学校訪問（秋月小）、朝倉市中学校教育研究会総合研究会
	28	朝倉市戦没者追悼式
	30	学校訪問（杷木中）
10	3	学校訪問（比良松中）
	11	朝倉市人権作品コンクール審査会
	18	朝倉市小学校教育研究会総合研究会
	21	北筑後教育委員会連絡協議会総会
	23	学校訪問（立石小）
	25	定例教育委員会、朝倉市中学校英語スピーチコンテスト（十文字中）
	31	朝倉市教育委員会研究指定・委嘱研究発表会（大福小）
11	2	朝倉市小学校PTA連合会研修会
	11	いのち・愛・人権展実行委員会

	21	定例教育委員会
	27	朝倉市いじめ問題対策連絡協議会
12	7	いのち・愛・人権展
	19	朝倉市社会福祉協議会評議員会
	22	青少年のつどいinあさくら
	23	学習会、朝倉市総合教育会議、定例教育委員会
R7 1	12	朝倉市二十歳の記念式典
	26	文化財防火訓練
	27	定例教育委員会
2	4	朝倉市小中学校運営研修会
	13	朝倉市教育支援センター委託研究発表会
	17	学習会、定例教育委員会
3	6	臨時教育委員会
	8	朝倉市立中学校卒業式
	18	朝倉市立小学校卒業式
	24	朝倉市人権・同和教育推進協議会社会教育部会総会
	25	定例教育委員会
	27	朝倉市社会福祉協議会評議員会

# I 学校教育

学校教育目標 主要課題と評価指標(令和5年度～令和8年度)

ふるさと朝倉を愛し、社会に貢献できる子どもの育成	確かな学力	(1)主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 (2)学習習慣の育成 (3)キャリア教育の推進
	指標	(1)課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童・生徒の割合(77%) (2)家で自分で計画を立てて勉強している児童・生徒の割合(60%) (3)将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合(77%)
	豊かな心	(1)自己肯定感が高まる体験活動の推進 (2)自他のよさを認め合う子どもの育成 (3)いじめ、不登校の未然防止・早期対応
	指標	(1)人の役に立つ人間になりたいと思う児童・生徒の割合(96%) (2)自分によいところがあると思う児童・生徒の割合(78%) (3)不登校出現率(2.3%)
	健やかな体	(1)主体的に運動に取り組む子どもの育成 (2)基本的な生活習慣の徹底 (3)健康教育の推進
	指標	(1)体力・運動能力向上の目標を立てて運動に取り組んでいる児童・生徒の割合(74%) (2)毎日、同じくらいの時間に寝ている児童・生徒の割合(80%)起きている児童・生徒の割合(92%) (3)児童・生徒の朝食摂取率(91%)
	開かれた学校	(1)地域とともにある学校づくりの推進 (2)郷土に愛着と誇りを持った子どもの育成
	指標	(1)学校運営協議会を年3回実施した学校の割合(100%) (2)地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童・生徒の割合(55%)
	教育環境の充実	(1)安心・安全な教育施設等の整備 (2)働き方改革の推進
	指標	(1)通学路・学校施設の安全管理に起因する児童・生徒に係わる事故・事件の件数(0件) (2)学校トイレ洋式化の割合(62.0%) (3)時間外在校等時間月80時間超の教職員の割合(5.0%)
	朝倉市教育支援センター	
教育支援		(1)教職員の資質向上に向けた支援の充実 (2)不登校復帰や改善に向けた支援の充実
	指標	(1)教育支援センターの研修に対する受講者満足度(100%) (2)卒業後の進路が決定した適応指導教室の生徒の割合(100%)

6年度 到達目標	主な事業	点検項目
学力テスト等における 県平均等以下の児童・生徒を前年度比7割以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進事業(各中学校区)</li> <li>・学力調査実施事業</li> <li>・ALT、JTEの派遣事業 (・英語スピーチコンテスト事業)</li> <li>・生きる力育成推進事業</li> <li>・学級づくりと個別最適な学習による確かな学力の育成推進事業</li> </ul>	「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けた、ICTの活用(週複数回)及びMEXCBTの活用 「家庭学習の手引き」の見直し(タブレットの活用例も入れる)と各家庭への繰り返し周知 児童生徒が将来に夢や目標を持つことができるような、体系的な教育活動の精選
自分に良いところがあると思う児童・生徒の割合8割以上 新規の不登校児童・生徒の出現数を前年比8割以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳性検査実施事業</li> <li>・生きる力育成事業</li> <li>・生徒指導活性化推進事業</li> <li>・いじめ問題対策事業</li> <li>・不登校対策支援会議</li> <li>・人権・同和教育研修会事業</li> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の配置事業</li> </ul>	自分で「感じ、考え、行動する」主体的・実践的な学習(体験的な学習や学校行事)の実施 生徒会・児童会や各学級において、課題解決を目指したルール作りや計画、実践、見直し等の自治的活動の実施 校内適応指導教室の設置や不登校児童生徒へのタブレットを活用した学習支援(居場所と学びの保障)
情報通信機器(携帯電話等)やテレビ、ゲームなどに関する使用時間の約束が守れている児童・生徒の割合7割以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の派遣事業</li> <li>・生きる力育成事業</li> <li>・チャレンジ記録の認定事業</li> <li>・小学校泳力記録会事業</li> <li>・クラブ、部活動支援事業</li> <li>・歯と口の健康推進事業</li> </ul>	走力・筋力の向上を自覚できる体育授業や部活動におけるショートトレーニングの実施 PTAと連携した「基本的生活習慣の徹底」に取り組む週間を年2回以上の実施 食生活の大切さを考える朝の会や帰りの会等での話や授業および保護者への広報の実施
市内のイベントや地域行事などに参加した児童・生徒の割合6割以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページへの学校情報の掲載</li> <li>・関係機関等との協力体制の強化</li> <li>・定例校長会の開催</li> <li>・学校不祥事防止対策事業</li> </ul>	地域情報の収集と児童・生徒への周知及び地域行事参加の推奨 (国際理解教育等を通して)我が国(郷土)の文化を振り返り、その良さに気付かせる学習活動の推進 不祥事防止のための定期的な職員研修及び、出張時のアルコールチェックの徹底
通学路・学校施設の安全管理に起因する児童・生徒に係わる事故等の件数0件 時間外在校等時間月80時間超の教職員が1割以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進事業(各中学校区)</li> <li>・各種研究会等への支援</li> <li>・特色ある学校づくり研究指定事業</li> <li>・義務教育学校建設事業</li> <li>・学校施設の整備事業</li> </ul>	学校行事や児童会・生徒会活動等、児童・生徒の取組が見える資料等の校内掲示 学校施設の定期的な点検及び地域と連携した通学路点検の月1回の実施 月2回以上の定時退校日の実施と中学校における「朝倉市部活動指針」に基づく活動の徹底
学校による教育支援センター研修満足度3.5以上(4段階) 適応指導教室入級児童・生徒の改善率(ステップ出席日数増あるいは学校への登校日数増)5割以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託研事業(教育研究・調査研究)</li> <li>・職歴に応じた研修事業</li> <li>・職務に応じた研修事業</li> <li>・適応指導教室事業(ステップ)</li> <li>・教育相談事業</li> <li>・不登校復帰支援事業</li> </ul>	「教員育成指標」に基づいた研修の実施及び朝倉市の教育課題に対応した研修の改善 委託研等を通じた「学校が活用できる成果物」の作成 定期的な学校支援チーム会議の実施と各学校との情報交換を月1回以上実施



## Ⅱ 生涯学習・スポーツ・文化

### 目標

### 主要課題と評価指標（令和５年度～令和８年度）

誰もがいつでも参加し学ぶことができ、豊かで成熟した郷土愛あふれる地域づくり

生涯学習の推進	(1) 生涯学習機会の充実 ①地域・学校・関連団体との連携 ②コミュニティセンター等を拠点とした社会教育事業の推進
	(2) 生涯学習支援の充実 ①学習機会の拡充      ②学習活動の支援      ③学習情報の提供
	指標 生涯学習の機会が十分にあると思う市民の割合 56%
	指標 市主催の生涯学習講座参加者数 1,700人、自主学習団体登録数 180団体
スポーツの推進	(1) スポーツ施設の活動環境の充実 ①社会体育施設の整備充実、②指定管理者制度の活用による施設の有効利用促進
	(2) 健康増進、市民相互交流の促進 ①ニュースポーツの普及・スポーツイベントの開催促進
	(3) 活動組織・団体の育成 ①体育協会やスポーツ少年団などのスポーツ関係団体の育成
読書活動の推進	指標 スポーツの機会が十分にあると思う市民の割合 53%
	指標 スポーツ指導者登録数 240人、スポーツ施設利用者数 200,000人
読書活動の推進	(1) 各種機関と連携した読書推進事業の充実 ①各講座等図書館事業の充実、②関係機関・団体との連携と活動の支援 ③「朝倉市子どもの読書活動推進計画（改訂版）」の推進 ④ブックスタート事業の推進とボランティアの育成
	(2) 市民のニーズに応じた図書館資料の整備 ①図書館の利便性向上と危機管理への取組 ②図書館システムの整備・活用、③多様な利用者に対応した資料の収集・整備 ④電子図書館の整備・利用促進、⑤貴重資料、地域資料の収集と保存整備 ⑥レファレンスやリクエストサービスの充実と図書館間の連携
	(3) 巡回文庫や移動図書館を活用した読書環境の整備 ①巡回文庫事業の推進、②移動図書館事業の推進
	指標 読書に親しんでいる市民割合 14%
文化芸術活動の推進	(1) 文化芸術の振興と活動支援 ①美術展・文化趣味講座・コンサート等開催事業 ②活動組織、団体の育成ならびに子どもの文化、芸術活動の促進 ③文化ホール等の有効活用、④姉妹都市高鍋文化交流
	(2) 文化施設の整備と利用促進 ①総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センター施設の維持管理 ②総合市民センター及び朝倉・杷木地域生涯学習センター施設の維持補修
	指標 文化芸術を鑑賞または活動する機会が十分にあると思う市民の割合 53%以上 文化芸術活動をへの参加者数 5,500人、文化施設の利用者数 220,000人
文化財の保存と活用	(1) 文化財の確実な継承 ①指定文化財等保存管理、②埋蔵文化財調査、③秋月伝統的建造物群保存事業 ④甘木歴史資料館及び朝倉市秋月博物館の所蔵資料の充実研究
	(2) 文化財の整備と活用 ①朝倉市平塚川添遺跡公園管理活用、②甘木歴史資料館管理活用 ③朝倉市秋月博物館管理活用、④歴史・文化の普及啓発
	指標 指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数 0件 市民が知っている市内の有形・無形文化財数 3個

6年度到達目標	主な事業	点検項目
生涯学習を習慣化している（趣味も含む）市民の割合 38%	社会教育関係指導者活用事業	1人あたり年間活動日数
	学社連携・融合推進事業	補助申請中学校区割合
	社会教育委員活動支援事業	会議開催回数、研修が役に立ったと思う参加者割合
	お茶の間学習ネットワーク事業	お茶の間学習ネットワーク事業学習者数 自主学习団体登録数
	生涯学習推進事業	市主催の生涯学習講座参加者数
スポーツを習慣化している市民の割合 33%	体育施設管理運営事業、ふれあい市民の広場管理運営事業、武道館管理運営事業	利用申請受付件数・施設の稼働率
	B&G海洋センター管理運営事業	年間利用者数
	スポーツ推進委員支援事業	出前講座等、地域での活動回数
	市民スポーツ大会開催事業	市民スポーツ大会の開催回数、参加人数
	体育協会支援事業	体育協会主催等の大会数、大会への参加人数
	スポーツ少年団支援事業	スポーツ少年団団員数、スポーツ少年団指導者数
	各種大会出場補助事業	本補助による県民スポーツ大会等各種大会参加人数
市民1人あたりの貸出冊数（電子図書館分を含む） 7冊	図書館管理運営事業	開館日数、一日平均利用者数（電子図書館分を除く） 年間レファレンス数
	図書館資料整備事業	年間資料購入数（電子図書館分を含む） 年間貸出冊数（電子図書館分を含む） 人口1人あたりの貸出冊数（電子図書館分を含む）
	移動図書館事業 巡回文庫事業	年間巡回箇所数、年間貸出冊数、年間巡回延べ回数
	図書館読書推進事業	講座等実施回数、講座等参加人数
	ブックスタート事業	ブックスタート年間回数、ブックスタート年間参加率 3歳時点で読み聞かせをしている人の割合
芸術・文化活動について鑑賞又は活動をしている市民の割合 42%	美術展事業	美術展出品者数、美術展来場者数
	文化趣味講座開催事業	参加人数、平均満足度
	コンサート等開催事業	参加人数、平均定員充足率
	文化団体連合会補助事業	事業参加者数、実施事業数
	甘木盆唄保存育成補助事業	公演参加者数（出演者）、公演入場者数
	自主文化協会補助事業	入場券販売率、平均定員充足率
	総合市民センター、朝倉・杷木地域生涯学習センター管理運営事業	施設利用者数、施設の不具合件数
	市民センター施設補修事業	施設の修繕工事件数
	姉妹都市高鍋文化交流事業	交流事業参加者数、美術作品交流事業参加者数
文化財啓発イベント数40回	指定文化財等保存管理事業	指定文化財数
	歴史・文化普及啓発事業 朝倉市文化財保存活用地域計画推進	啓発イベント参加人数
	埋蔵文化財調査事業	予備調査完了面積
	秋月伝統的建造物群保存事業	特定物件数
	朝倉市平塚川添遺跡公園管理活用事業	活用事業件数、活用事業参加者数
	甘木歴史資料館管理活用事業	入館者数、所蔵資料件数
	朝倉市秋月博物館管理活用事業	入館者数

# 自己点検・評価表

〔令和6年度 対象〕

## 目 標

### I 学校教育

ふるさと朝倉を愛し、社会に貢献できる子どもの育成

### II 生涯学習・スポーツ・文化

誰もがいつでも参加し学ぶことができ、豊かで熟成した

郷土愛あふれる地域づくり

評価基準	5	達成率100%以上
	4	達成率85%以上～100%未満
	3	達成率70%以上～85%未満
	2	達成率50%以上～70%未満
	1	達成率50%未満

※到達目標が複数ある場合は、各目標を評価し、  
基本目標毎に平均値を算出する。

## 自己点検・評価表

学校教育目標：～ふるさと朝倉を愛し、社会に貢献できる子どもの育成～

部門	I 学校教育	令和6年度 到達目標	学力テスト等における県平均等以下 の児童・生徒を前年度比7割以下	評価点
基本目標	確かな学力			3
＜評価の理由＞		＜今後の改善策＞		
<p>令和5年度の全国学力・学習状況調査(小6・中3)における国語/算数・数学の県平均以下の数は、全小学6年生427名中で174名(40.7%)、全中学3年生375名中で170名(45.3%)でした。これに対し、令和6年度は、全小学6年生410名中で178名(43.4%)、全中学3年生383名中で210名(54.8%)でした。県平均等以下の児童・生徒数は、令和5年度の344名(42.9%)から令和6年度の388名(48.3%)に増加しており、到達目標の前年度比7割以下に至っていません。</p> <p>○ 校長への「施策評価アンケート」の「週複数回以上のICTの活用」において、すべての学校が「十分達成」「達成」と回答しており、「主体的・対話的な深い学び」につながる授業改善を進めることができたと考えます。</p> <p>○ 「家庭学習の手引き」は、すべての学校で作成し保護者に年2回以上周知することができました。</p> <p>○ 全国学力・学習状況調査(小6・中3)の結果では、将来に夢や希望を持っている児童生徒は76%で、全国平均よりも1.7%高い結果となっています。</p>		<p>「学力向上推進事業」において、各中学校区で連携した学力向上の取組を構築します。また、各学校において「個別最適な学びと協働的な学び」の実現に向け、自ら課題を設定し、課題解決に向けて主体的な活動や仲間と協力する対話的な活動を取り入れます。さらに、課題を解決する過程で理解を深める課題解決型の授業のづくりを行う中で、基礎的な知識・技能を活用しながら学力の定着を図ります。</p> <p>○ 児童生徒一人一人の特性や学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うとともに、AIドリル等を活用して、学習の個性化を図ります。</p> <p>○ 各学校で「家庭学習の手引き」の内容を見直ししながら、今後も年2回以上の保護者への周知を図っていきます。</p> <p>○ キャリア教育で育むべき「基礎的・汎用的能力」を明確にしながら、各学校の特徴を生かした体系的・系統的な取組を行っていきます。</p>		

### ■指標

(1) 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童

生徒の割合(77%)

令和6年度	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	80	79.4	81.9	-1.9
中学校	76.8	78	80.3	-3.5

(2) 家で自分で計画を立てて勉強している児童・生徒の割合(60%)

令和6年度	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	71.7	—	—	—
中学校	64.7	—	—	—

(3) 将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合(77%)

令和6年度	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	83.4	82.6	82.4	1
中学校	68.6	67.1	66.3	2.3

部門	I 学校教育	令和6年度 到達目標	自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合8割以上 / 新規の不登校児童・生徒の出現数を前年度比8割以下	評価点 5
基本目標	豊かな心			
<p>&lt;評価の理由&gt;</p> <p>令和6年度の全国学力・学習状況調査（小6・中3）によると、「自分に良いところがあると思う」児童・生徒は、小学校で82.7%、中学校で81.3%で、到達目標の8割以上を達成しています。</p> <p>新規の不登校児童・生徒の出現数は、令和5年度が67人、令和6年度が40人（R5の59.7%）であり、到達目標の前年度比8割以下を達成しています。</p> <p>（参考：新規の不登校の出現率 R4…1.36%、R5…1.7%、R6…1.04%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校行事等で、各学校の特色を生かした様々な体験学習が行われており、児童・生徒が主体的に「参加」「協力」「体験」できる学習活動を推進することができています。</li> <li>○ 学校生活の中で発生する様々な問題について、発達段階に応じた自治的な児童会・生徒会や学級活動での話し合い活動が計画的に実施されています。</li> <li>○ 不登校児童・生徒については、適応指導教室（ステップ）や民間のフリースクール（よつば等）と連携し、居場所づくりと学習支援を行うことができています。</li> </ul>			<p>&lt;今後の改善策&gt;</p> <p>様々な困難や課題を抱える児童・生徒が増える中、子どもの発達を踏まえつつ、一人一人の可能性を伸ばしていく教育活動を推進します。</p> <p>新規の不登校を生み出さないため、小中学校連絡会の実施と小・中「引継ぎシート」の活用を推進します。校内の適応指導教室の設置の推進と、適応指導教室（ステップ）や民間フリースクールとの連携を密にすることで、学校復帰や進路獲得に向けた取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後は、総合的な学習の時間等においても、発達段階に応じた自治的な活動を意識し、生徒個々が「人の役に立ちたい」という意識を持つようになる活動を行っていきます。</li> <li>○ 自己存在感の感受、共感的人間関係の育成、自己決定の場の提供を意識した活動を通して、学校で児童・生徒が安全かつ安心して過ごせる雰囲気づくりに取り組んでいきます。</li> <li>○ 校内適応指導教室の設置とともに、ICTの活用等により不登校児童生徒への学習支援を行っていきます。</li> </ul>	

# ■指標

## （1）人の役に立つ人間になりたいと思う児童・生徒の割合（96%）

令和6年度	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	96.6	96.4	95.9	0.7
中学校	92.6	95.3	95.2	-2.6

## （2）自分にはよいところがあると思う児童・生徒の割合（78%）

令和6年度	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	82.7	83.3	84.1	-1.4
中学校	81.3	83.4	83.3	-2

## （3）不登校出現率（2.3%） ※全国、県のR6分は9月公表のため、以下はR5分

	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	2.48	2.68	2.14	0.34
中学校	9.98	7.89	6.71	3.27

部門	I 学校教育	令和6年度 到達目標	情報通信機器(携帯電話等)やテレビ、ゲームなどに関する使用時間の約束が守れている児童・生徒の割合7割以上	評価点
基本目標	健やかな体			5
<p>&lt;評価の理由&gt;</p> <p>令和6年度に実施した「朝倉市児童・生徒アンケート(小4～6・中1～3)」において、「テレビやゲーム、スマートフォンなどに関する使用時間の約束を守ることができていますか」という質問に対して、「できている」「どちらかといえば、できている」と回答した割合は、小学校が79.7%、中学校が69.8%でした。中学校は到達目標の7割にはわずかに届きませんでしたが、小学校と中学校を合わせると、到達目標の7割以上を達成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校長への「施策評価アンケート」の「走力・筋力の向上を自覚できる体育授業や部活動におけるショートトレーニングの実施」において、「十分達成」「達成」と回答したのは17校でした。</li> <li>○ 同アンケート「PTAと連携した『基本的生活習慣の徹底』に取り組む週間を年2回以上実施」において、「十分達成」「達成」と回答したのは17校でした。</li> <li>○ 同アンケート「食生活の大切さを考える児童生徒への話や保護者への広報の実施」において、「十分達成」「達成」と回答したのは17校でした。</li> </ul>			<p>&lt;今後の改善策&gt;</p> <p>児童・生徒が情報通信機器の利用に関する約束が遵守できるよう学校と家庭との連携を進めるとともに、児童会・生徒会等の自治的な取組を推進します。</p> <p>また、目的意識を持って主体的に運動に取り組む児童・生徒を育てるための体育科・保健体育科授業の充実・改善を推進します。さらに、運動能力の向上につながる「外遊び」を推奨し、子どもが継続的に運動する習慣が自然と身に付くようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業において、運動前に目標設定の活動を位置付け、児童・生徒に日頃から目標を立てて運動に取り組む習慣を身に付けさせます。</li> <li>○ 各学校がPTAと連携して実施している「新”家庭教育宣言”」の取組を継続し、規則正しい生活習慣づくりを徹底して、児童・生徒に早寝・早起き・朝ご飯の意識付けを図ります。</li> <li>○ 食の大切さを考えることができるように、児童・生徒に対して意図的・計画的に食に関する話題の提供や保護者への広報を推進します。</li> </ul>	

#### ■指標

(1) 体力・運動能力向上の目標を立てて、運動に取り組んでいる児童・

生徒の割合(74%)

令和6年度	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	73.9	78.6	74.6	-0.7
中学校	70.8	70.5	75.3	-4.5

(2) 毎日、同じくらいの時間に寝ている児童・生徒の割合(80%)

起きている児童・生徒の割合(92%)

令和6年度		朝倉市	県	全国	全国との差
起床	小学校	82.3	81.3	82.9	-0.6
	中学校	79.7	79.7	80.7	-1
就寝	小学校	92	91	91.6	0.4
	中学校	91	92.6	92.5	-1.5

(3) 児童・生徒の朝食摂取率(91%)

	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	91.5	91.4	93.7	-2.2
中学校	91.8	89.5	91.2	0.6



部門	I 学校教育	令和6年度 到達目標	市内のイベントや地域行事などに参 加した児童・生徒の割合6割以上	評価点
基本目標	開かれた学校			5
<p>&lt;評価の理由&gt;</p> <p>令和6年度に実施した「朝倉市児童・生徒アンケート(小4～6・中1～3)」において、「朝倉市のイベントや祭りなどの地域行事に参加していますか」という質問に対して、「参加している」「どちらかといえば、参加している」と回答した児童・生徒の割合は、小学校が78.3%、中学校が68.6%であり、どちらの校種とも目標の6割以上を達成しています。</p> <p>○ 校長への「施策評価アンケート」の「地域情報の収集と児童生徒への周知及び地域行事参加の推奨」において、「十分達成」「達成」と回答したのは17校でした。</p> <p>○ 市内すべての小・中学校において、学校運営協議会を年3回以上開催実施できました。</p> <p>○ 校長への「施策評価アンケート」の「不祥事防止のための定期的な職員研修及び出張時のアルコールチェックの徹底」において、「十分達成」「達成」と回答したのは16校でした。</p>		<p>&lt;今後の改善策&gt;</p> <p>市内のイベントや地域行事等への参加については、学校行事や部活動の日程調整を行うなどし、児童・生徒が積極的に参加できる体制づくりに努めます。</p> <p>また、児童・生徒が地域のよさを再発見できるように、地域の「ひと・もの・こと」を活用した体験的な活動を充実させます。</p> <p>さらに、今後も学校運営協議会等を通して地域からの声を積極的に集め、さらなる地域連携を充実させていきます。</p> <p>○ 地域コミュニティや学校、関係団体で地域の行事等の情報(日時・場所等)を共有化して児童・生徒に周知することで、参加を促します。</p> <p>○ 郷土に愛着と誇りを持つ児童・生徒を育てるため、「わたしたちの朝倉」や「ふるさと人物誌」を活用した授業づくりの取組を推進します。</p> <p>○ 日頃から不祥事防止の意識を高めることができるように、不祥事防止のための定期的な職員研修及び実効性のある危機管理マニュアルを作成し繰り返し周知します。</p>		

■指標

(1) 学校運営協議会を年3回実施した学校の割合(100%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小・中学校	74.5	100	100	100

(2) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えている

児童・生徒の割合(55%)

令和6年度	朝倉市	県	全国	全国との差
小学校	70.9	76.4	76.8	-5.9
中学校	60.5	64.6	63.9	-3.4

部門	I 学校教育	令和6年度 到達目標	通学路・学校施設の安全管理に起因する児童・生徒が 係わる事故等の件数0件 / 時間外在校等時間月80時 間超の教職員が1割以下	評価点
基本目標	教育環境の充実			4.5 (5) (4)
<p>&lt;評価の理由&gt;</p> <p>令和6年度の通学路・学校施設の安全管理に起因する児童生徒に係る事故等の報告は0件で、目標を達成することができました。</p> <p>令和6年度の時間外在校等時間月80時間超の職員の割合は、10.8%で令和5年度に比べ0.4%減少していますが、到達目標の1割以下には至っていません</p> <p>○ 校長への「施策アンケート」の「学校行事や児童会・生徒会等、児童生徒の取組が見える資料等の校内掲示」において、「十分達成」「達成」と回答したのは17校でした。</p> <p>○ 同アンケート「学校施設の定期的な点検及び地域と連携した通学路点検の月1回の実施」において、「十分達成」「達成」と回答したのは17校でした。</p> <p>○ 同アンケート「月2回以上の定時退校日の実施と中学校『朝倉市部活動指針』に基づく活動の徹底」において、「十分達成」「達成」の回答は16校でした。</p>			<p>&lt;今後の改善策&gt;</p> <p>PTA等と連携して児童生徒の登下校の状況把握や通学路の定期的な安全点検を月1回実施するとともに、安全確保のための体制づくりを推進します。不審者情報に関しては速やかに全小中学校にメール等で情報を発信し、登下校時の注意喚起を行います。</p> <p>また、教職員が児童生徒と向き合う時間を十分に確保するために、業務改善及び中学校における部活動改革を推進します。</p> <p>○ 小学校での交換授業や中学校でのTT授業など、複数の教職員で児童生徒を支援できる教育体制づくりを推進します。</p> <p>○ 定期的な学校施設や運動器具等（設置や固定状況の確認を含む）の点検を行うなど、安心・安全な教育環境の整備に努めます。</p> <p>○ 働き方改革については、「朝倉市部活動指針」に準じた休養日の設定や「統合型校務支援システム」の活用により、教職員の時間外在校時間縮減を図ります。</p>	

# ■指標

## (1) 通学路・学校施設の安全管理に起因する児童・生徒に係わる

事故・事件の件数(0件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小・中学校	0	0	0	0

## (2) 学校トイレ洋式化の割合 (62%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小・中学校	35.0	35.4	35.4	48.5

## (3) 時間外在校等時間月80時間超の教職員の割合 (5%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小・中学校	10.6	12.2	11.1	10.8



部門	I 学校教育	令和6年度	学校による教育支援センター研修満足度3.5以上(4段階) / 適応指導教室入級児童・生徒の改善率(ステップ出席日数増あるいは学校への登校日数増) 5割以上	評価点
基本目標	教育支援	到達目標		3.5 (5)(2)
<p>&lt;評価の理由&gt;</p> <p>令和6年度は、教育支援センターが主催する職歴・職務に応じた研修会、教育支援センターと小中学校研究会が共催する教育講演会など、全部で5講座が開設されました。受講者の満足度は、ほとんどの研修会で100%に近く非常に高い結果となっています。</p> <p>また、適応指導教室入級児童・生徒の改善率(ステップ出席日数増あるいは学校への登校日数増の児童・生徒の割合)は、令和4年度は65%、令和5年度は29%、令和6年度は38.1%で、5割には到達していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育支援センターの主催・主管の研修会にはのべ142名が参加し、それぞれの職務に必要な知識を身に付け、専門性を高めることができました。</li> <li>○ 委託研究では、教科の指導方法の研究結果がまとめられるとともに、教職員の職能成長を図るための学校組織マネジメントのあり方の研究がなされました。</li> <li>○ 「学校と(適応指導教室在籍)児童・生徒の情報交換を月1回以上実施」については、在籍児童生徒が在籍するすべての学校で実施することができました。</li> </ul>			<p>&lt;今後の改善策&gt;</p> <p>委託研究(教育研究部門)では、教職経験6年目までの教員を対象とした学習指導や教育研究などの指導力向上を目指す「基礎・向上コース」と、7年目以降の教員を対象とした教育課題の解決や専門性の伸長を目指す「充実・深化コース」を設け、職能成長を促していきます。</p> <p>適応指導教室(ステップ)においては、運営の在り方を検討するとともに、民間のフリースクール(よつば等)との連携を行っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「福岡県教員育成指標」を基に、管理職による面談を実施し、教師自身の現在の目標設定、研修内容の選択・改善を図るよう指導します。</li> <li>○ 委託研究において、市の教育活動の推進や教育課題の解決に寄与する研究・成果物の作成を行い、学校現場に広く周知します。</li> <li>○ 不登校や不登校兆候児童生徒の数を減らすため、今後も各学校の支援会議に指導主事やSSW等が参加し、指導・助言を行います。また、保護者への支援を積極的行います。</li> </ul>	

## ■指標

### (1) 教育支援センターの研修に対する受講者満足度(100%)

令和6年度	人権・同和教育研修	学校経営・生徒指導研修	メンタルヘルス講座	教育講演会
小・中学校	100	100	95	100

令和6年度	ミドルリーダー研修
小・中学校	100

### (2) 卒業後の進路が決定した適応指導教室の生徒の割合(100%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中学校	100	100	100	100

部門	Ⅱ 生涯学習・スポーツ・文化	令和6年度 到達目標	生涯学習を習慣化している（趣味も含む）市民の割合 38%	評価点
基本目標	生涯学習の推進			3
【評価】		【今後の改善策】		
令和6年度に実施した市民アンケートの結果、生涯学習を習慣化している（趣味も含む）市民の割合が26.5%となり、達成率は約7割でした。物価高騰により経済的余裕がなくなるなど、日常生活の様々なストレスなどにより趣味を楽しむ余裕がなくなり、あわせて学習意欲が低下していることが要因と考えられます。		今後とも、生涯学習講座について、時代のニーズに沿った内容にするなど、内容を充実させ参加者数の増加を図り、また、お茶の間ネットワーク事業の教室数を増加させ、生涯学習を習慣化している市民の割合の増加に努めます。また、前年度から実施しているeスポーツ事業を拡充します。		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会教育関係指導者活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1人あたり年間活動日数 240日/R2 240日/R3 240日/R4 240日/R5 240日/R6</li> </ul> </li> <li>○ 学社連携・融合推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補助申請中学校区割合 83.3%/R2 83.3%/R3 83.3%/R4 83.3%/R5 100%/R6</li> </ul> </li> <li>○ 社会教育委員活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議開催回数 2回/R2 5回/R3 1回/R4 2回/R5 2回/R6</li> <li>・ 研修が役に立ったと思う参加者数割合 100%/R2 100%/R3 100%/R4 100%/R5 100%/R6</li> </ul> </li> <li>○ お茶の間学習ネットワーク事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お茶の間学習ネットワーク事業学習者数 1,637人/R2 1,434人/R3 1,366人/R4 1,502人/R5 1,526人/R6</li> <li>・ 自主学習団体登録数 176団体/R2 164団体/R3 151団体/R4 163団体/R5 168団体/R6</li> </ul> </li> <li>○ 生涯学習推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市主催の生涯学習講座参加者数 997人/R2 953人/R3 908人/R4 1,581人/R5 2,229人/R6</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域活動指導員や社会教育指導員を積極的に地域に派遣し、地域における生涯学習の支援を充実します。</li> <li>○ 全中学校区の実施が継続できるように支援していきます。</li> <li>○ 社会教育委員に対し、研修会等の積極的な参加を促していきます。</li> <li>○ おためし講座*の開催を今後も継続し、また、1講師につき複数の教室を開催するなど、事業の参加者数の向上に努めます。 ※現在実施していない教室を試験的に実施することで、定期的な開催に繋げるもの</li> <li>○ 時代のニーズにあった魅力的な講座を企画し、また、託児や土、日の実施を行うなど親子で参加しやすい環境の整備を行い、事業参加者数の向上に努めます。</li> </ul>		

## ■指標

(1) 生涯学習の機会が十分にあると思う市民の割合56%

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-	54.2	-	-	64.9

(2) 市主催の生涯学習講座参加者数1,700人

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
997	953	908	1,581	2,229

(3) 自主学習団体登録数180団体

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
176	164	151	163	168

部門	Ⅱ 生涯学習・スポーツ・文化	令和6年度	スポーツを習慣化している市民の割合	評価点
基本目標	スポーツの推進	到達目標	33%	5
【評価】		【今後の改善策】		
<p>令和6年度に実施した市民アンケートの結果、令和3年度は31.0%であったものが、令和6年度は33.9%と向上しています。新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり、市民のスポーツ活動が活発になってきたものと思われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育施設管理運営事業、ふれあい市民の広場管理運営事業、武道館管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者受付件数 6,205件/R2 5,285件/R3 6,027件/R4 7,516件/R5 7,834件/R6</li> <li>・施設の稼働率 22.70%/R2 23.56%/R3 18.36%/R4 19.73%/R5 18.34%/R6</li> </ul> </li> <li>○ B&amp;G海洋センター管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間利用者数 52,666人/R2 39,419人/R3 55,870人/R4 47,899人/R5 53,366人/R6</li> </ul> </li> <li>○ スポーツ推進委員支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座等、地域での活動回数 2件 35人/R2 3件 57人/R3 12件 209人/R4 31件 577人/R5 38件 808人/R6</li> </ul> </li> <li>○ 市民スポーツ大会推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民スポーツ大会の開催回数、参加人数 0回 0人/R2 1回 227人/R3 4回 655人/R4 6回 617人/R5 6回 774人/R6</li> </ul> </li> <li>○ 体育協会支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育協会主催等の大会数、大会への参加人数 77回/R2 23回/R3 42回 4,841人/R4 46回 6,021人/R5 55回 6,740人/R6 ※R1～3は人数データなし</li> </ul> </li> <li>○ スポーツ少年団支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団団員数、スポーツ少年団指導者数 685人 245人/R2 681人 222人/R3 680人 228人/R4 682人 237人/R5 655人 259人/R6</li> </ul> </li> <li>○ 各種大会出場補助事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本補助による県民スポーツ大会等各種大会参加人数 0人/R2 5人/R3 223人/R4 251人/R5 244人/R6</li> </ul> </li> </ul>		<p>引き続き出前講座のニュースポーツ体験教室及びチェック・ザ・体力（体力測定）並びに市民スポーツイベント等を積極的に行い、市民の運動に対する意識を高めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の安全を第一に考え、危険な箇所は早急に補修等を行うなど適切な維持管理を行い、安心して利用できる環境整備へ努めていきます。</li> <li>○ B&amp;G財団の改修工事等の有効な補助メニューを活用し、快適な施設を維持することで利用者増を目指します。</li> <li>○ スポーツ推進委員と連携し、体力測定による健康増進とニュースポーツの普及に努めていきます。</li> <li>○ 市民のスポーツや健康に対する関心が高まるよう、活動の機会を提供していきます。</li> <li>○ 体育協会加盟団体の育成や強化等の支援を行い、広く市民がスポーツに参加しやすい環境を整えていきます。</li> <li>○ スポーツ少年団の指導者や団員を対象とした助成を行い、組織の育成や活動を支援していきます。またホームページやSNS等で活動をPRし、スポーツの楽しさを周知していきます。</li> <li>○ 各種大会に出場する市民を支援していきます。</li> </ul>		

■指標

(1) スポーツの機会が十分にあると思う市民の割合 53%

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-	50.5	-	-	62.9

(2) スポーツ指導者登録者数 240人

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
245	222	228	237	259

(3) スポーツ施設利用者数 200,000人

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
130,913	101,424	137,856	136,677	151,914

部門	Ⅱ 生涯学習・スポーツ・文化	令和6年度 到達目標	市民1人あたりの貸出冊数（電子図 書館分を含む）7冊	評価点
基本目標	読書活動の推進			4
【評価】		【今後の改善策】		
<p>市民1人あたりの貸出冊数を7冊以上とする到達目標については、令和6年度は令和5年度から0.13冊向上し、6.5冊となっていますが、目標に到達していません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数 270日/R2 238日/R3 295日/R4 290日/R5 298日/R6</li> <li>・一日平均利用者数（電子図書館分を除く） 223人/R2 221人/R3 221人/R4 214人/R5 208人/R6</li> <li>・年間レファレンス件数 2,321件/R2 1,684件/R3 2,194件/R4 1,649件/R5 3,095件/R6</li> </ul> </li> <li>○ 図書館資料整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間資料購入数（電子図書館分を含む） 15,722冊/R2 15,983冊/R3 15,729冊/R4 14,621冊/R5 13,868冊/R6</li> <li>・年間貸出冊数（電子図書館分を含む） 278,711冊/R2 249,195冊/R3 300,924冊/R4 320,396冊/R5 323,627冊/R6</li> <li>・人口1人あたりの貸出冊数 （R3～電子図書館分を含む） 5.68冊/R2 4.83冊/R3 6.00冊/R4 6.37冊/R5 6.50冊/R6</li> </ul> </li> <li>○ 移動図書館事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間巡回箇所数 21箇所/R2 20箇所/R3 20箇所/R4 20箇所/R5 20箇所/R6</li> <li>・年間貸出冊数 24,589冊/R2 9,466冊/R3 17,727冊/R4 23,020冊/R5 27,585冊/R6</li> <li>・年間巡回延べ回数 190回/R2 144回/R3 268回/R4 259回/R5 298回/R6</li> </ul> </li> <li>○ 巡回文庫事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間巡回箇所数 26回/R2 26回/R3 27回/R4 26回/R5 26回/R6</li> <li>・年間貸出冊数 11,547冊/R2 12,675冊/R3 13,263冊/R4 12,931冊/R5 11,643冊/R6</li> <li>・年間巡回延べ回数 199回/R2 144回/R3 201回/R4 228回/R5 207回/R6</li> </ul> </li> <li>○ 図書館読書推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座等実施回数 62回/R2 106回/R3 226回/R4 233回/R5 253回/R6</li> </ul> </li> </ul>		<p>今後とも読書活動推進に向けた環境整備、人材育成を目指します。図書館だよりやホームページ等で図書館行事等の情報発信を継続して行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3館の休館日をずらし、祝日開館を継続することで、利用者の利便性向上に努めます。</li> <li>○ 今後も利用者のニーズに合わせた資料収集、読書案内に努めます。学校との研修会や図書館見学の機会を利用し、電子図書館の周知に努め、小中学校と連携して利用促進を図ります。郷土、ふるさと関連の地域資料について、収集・保存を継続して行います。多様な利用者（障がい者、外国人等）に対応した資料の収集、提供を継続して行います。</li> <li>○ 子ども達が身近な場所で本にふれ合えるように、移動図書館先との連携を図り、取り組みを進めていきます。</li> <li>○ 地域のコミュニティや高齢者施設等を巡回し、利用促進を図るとともに読書環境の向上に努めます。</li> <li>○ 今後も幅広い年代に向け、読書活動の推進につながる事業を計画し、実施します。</li> </ul>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座等参加人数 1,005人/R2 1,519人/R3 1,966人/R4 3,070人/R5 3,608人/R6</li> <li>○ ブックスタート事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート年間回数 22回/R2 26回/R3 29回/R4 30回/R5 30回/R6</li> <li>・ブックスタート年間参加率 98.0%/R2 97.8%/R3 98.8%/R4 97.7%/R5 97.9%/R6</li> <li>・3歳時点で読み聞かせをしている人の割合 (R4調査開始) 67.4%/R4 71.5%/R5 71.7%/R6</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブックスタート、ブックスタートフォローアップを機に、家庭での読書啓発、読み聞かせの定着化を働きかけていきます。</li> </ul>
--	---

■指標

(1) 読書に親しんでいる市民割合 (14%)

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-	8.3	12.2	-	9.5



部門	Ⅱ 生涯学習・スポーツ・文化	令和6年度 到達目標	芸術・文化活動について鑑賞又は活動 をしている市民の割合 42%	評価点
基本目標	文化芸術活動の推進			5
【評価】		【今後の改善策】		
<p>令和6年度に実施した市民アンケートの結果、芸術・文化活動について鑑賞又は活動をしている市民の割合が60.6%となり、達成率は100%以上でした。</p> <p>市民の歴史や文化芸術に関する意識が高まっているものと思われます。</p>		<p>施設利用者数、文化団体事業参加者数、また自主文化協会事業における平均定員充足率等が増加していることから、当面現在の方向性で事業を進め、達成率上昇のための課題抽出に努めます。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術展事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出品者数：中止/R2・R3 109人/R4 108人/R5 101人/R6</li> <li>・ 来場者数：中止/R2・R3 848人/R4 833人/R5 727人/R6</li> </ul> </li> <li>○ 文化趣味講座開催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加人数：112人/R2 159人/R3 177人/R4 384人/R5 220人/R6</li> <li>・ 平均満足度：88.8%/R2 87.3%/R3 99.7/R4 95%/R5 100%/R6</li> </ul> </li> <li>○ コンサート等開催事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加人数：417人/R2 713人/R3 675人/R4 1,163人/R5 1,813人/R6</li> <li>・ 平均定員充足率：100%/R2 97.3%/R3 84.5%/R4 91%/R5 88.2%/R6</li> </ul> </li> <li>○ 文化団体連合会補助事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業参加者数：355人/R2 310人/R3 1,493人/R4 5,047人/R5 6,092人/R6</li> <li>・ 実施事業数：6件/R2 6件/R3 10件/R4 15件/R5 16件/R6</li> </ul> </li> <li>○ 甘木盆俄保存育成補助事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公演出演者数：未実施年/R2・R3 中止/R4 60人/R5 53人/R6</li> <li>・ 公演入場者数：未実施年/R2・R3 中止/R4 850人/R5 710人/R6</li> </ul> </li> <li>○ 自主文化協会補助事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入場券販売率：74.4%/R2 58.4%/R3 52%/R4 55%/R5 72%/R6</li> <li>・ 平均定員充足率：71.4%/R2 52.8%/R3 50%/R4 52%/R5 62%/R6</li> </ul> </li> <li>○ 総合市民センター、朝倉・杷木地域生涯学習センター管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設利用者数：91,115人/R2 85,247人/R3 137,973人/R4 144,727人/R5 164,505人/R6</li> <li>・ 施設不具合件数：0件/R2～R4 1件/R5 0件/R6</li> </ul> </li> <li>○ 市民センター施設補修事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設修繕工事件数：31件/R2 31件/R3 37件/R4 39件/R5 35件/R6</li> </ul> </li> <li>○ 姉妹都市高鍋文化交流事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流事業参加者数：未実施/R2～R4 44人/R5 —/R6</li> <li>・ 美術作品交流事業参加者数：中止/R2・R3</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広報活動の充実を図り出品者並びに来場者の増を目指します。</li> <li>○ 平均満足度が高い数値を示していることから、引き続き事業を展開します。</li> <li>○ 平均定員充足率は高い数値を示していることから、引き続き事業を展開します。</li> <li>○ 事業参加者数、事業実施数ともに増加しており、今後とも引き続き支援を続けます。</li> <li>○ 地域の伝統文化を伝承する保存会等に助成を行い、連携を図るとともに活動を支援していきます</li> <li>○ 入場券販売率、平均定員充足率の更なる上昇を目指して、引き続き自主文化事業協会に対し、広報協力、運営支援を行います。</li> <li>○ 各館の利用促進に努め、施設不具合の発生を起こさないようにこれまで以上に適切な管理に努めます。</li> <li>○ 適正な施設維持のために、引き続き、適切な時期に修繕・機器更新を行います。</li> <li>○ 10年間に大交流1回、小交流2回を単位として行う事業であり、交流事業は毎回好評です。姉妹都市の交流事業として重要な意味合いを持つとの理解</li> </ul>		

848人/R4 13人/R5 744人/R6	から、積極的に事業推進を行い、また市民交流の支援を行っていきます。
------------------------	-----------------------------------

■指標

(1) 文化芸術を鑑賞又は活動する機会が十分にあると思う市民の割合53%以上

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-	50.9	-	-	64.4

(2) 文化芸術活動への参加者数5,500人

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
383	456	5,379	13,600	23,241

(3) 文化施設の利用者220,000人

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
91,115	85,247	137,973	200,112	218,226



部門	Ⅱ 生涯学習・スポーツ・文化	令和6年度 到達目標	文化財啓発イベント数40回	評価点
基本目標	文化財の保存と活用			5
【評価】		【今後の改善策】		
<p>令和6年度は秋月藩成立400年記念事業、平塚川添遺跡公園活用事業（国指定史跡30周年記念事業含む）で40回の啓発イベントを実施し、100%の達成率となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定文化財等保存管理事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定文化財数 94件/R2 94件/R3 94件/R4 93件/R5 93件/R6</li> </ul> </li> <li>○ 歴史・文化普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 啓発イベント参加人数 29人/R2 124人/R3 271人/R4 2,625人/R5 2,165人/R6</li> </ul> </li> <li>○ 埋蔵文化財調査事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予備調査完了面積（累計） 15,306,514m<sup>2</sup>/R2 15,616,319m<sup>2</sup>/R3 15,856,571m<sup>2</sup>/R4 16,030,565m<sup>2</sup>/R5 16,517,832m<sup>2</sup>/R6</li> </ul> </li> <li>○ 秋月伝統的建造物群保存事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定物件数 175件/R2 174件/R3 173件/R4 173件/R5 173件/R6</li> </ul> </li> <li>○ 朝倉市平塚川添遺跡公園管理活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用事業件数 18件/R2 15件/R3 21件/R4 23件/R5 23件/R6</li> <li>・ 活用事業参加者数 1,884人/R2 2,461人/R3 3,566人/R4 5,756人/R5 9,562人/R6</li> </ul> </li> <li>○ 甘木歴史資料館管理活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入館者数 3,898人/R2 3,355人/R3 5,252人/R4 2,718人/R5 6,012人/R6</li> <li>・ 所蔵資料増加件数 18件/R2 19件/R3 4件/R4 7件/R5 7件/R6</li> </ul> </li> <li>○ 朝倉市秋月博物館管理活用事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入館者数 9,257人/R2 9,389人/R3 14,970人/R4 30,705人/R5 25,081人/R6</li> </ul> </li> </ul>		<p>講座等において市内各地域の歴史や文化財等を分かりやすく解説できるように、マニュアル化に努めるとともに、未だ知られていない文化財については、地域の方とともに調査・研究ができる仕組みを整えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年度に策定した「文化財保存活用地域計画」の年度計画に基づき、文化財の保存と活用を行います。また指定文化財の適正な維持管理を実施し、貴重な文化財を後世へ継承する事業を行います。</li> <li>○ 地域文化の啓発事業を積極的に展開するほか、あさくら検定事業を実施し、郷土愛の醸成に努めます。また、令和7年度は、全国藩校サミット朝倉大会を実施し文化財保護の気運を高めます。</li> <li>○ 埋蔵文化財予備調査を実施し、「埋蔵文化財包蔵地図」の精度を高めます。</li> <li>○ 秋月地区の歴史的風致を保存活用するため、現状変更事務等を適切に実施し、文化的景観の維持を図ります。</li> <li>○ 平塚川添遺跡公園の特徴を生かした多種多様な主催行事を実施し、様々な団体等による自主的な体験活動、日常的な市民の利用等を促します。</li> <li>○ 甘木歴史資料館の展示や解説を工夫し、レファレンス機能や調査・研究活動の充実を図り、魅力ある展示会を開催します。</li> <li>○ 秋月博物館では、地域に密着した博物館を目指すため、特別展の開催や講座内容の充実を図ります。</li> </ul>		

■指標

(1) 指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数 0件

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	2	1	4	2

(2) 市民が知っている市内の有形・無形文化財数 3個

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
-	-	1.8	-	1.7